

土地の記憶 30000年歴史絵図

沖縄の歴史は個性的だ。

日本の平安時代末期まで続いた琉球時代。交易があり稲作を知っていたが、琉球人は農耕を始めなかった。島の自然はそれだけ豊かで、農耕ほどの労働負荷を必要としない狩猟採集生活は心地よいものだったのだろう。首里王府を中心とする海洋国家を成した琉球王国時代。中国と日本の間に立ち位置をとりながら、日本が鎖国していた間も交易で栄え、渡来する文化の融合を開花させた。明治維新期には、日本より先にペリーが来航し、ありを受けて王国は琉球藩を経て沖縄県になった。



太平洋戦争末期の地空戦で県民の1/4も
の人命と財産を失い、戦後は1972年の本土復
婦まで米国の統治を受けた。先祖代々の土
地に建設された基地は今も、在日米軍の7
割が集中する。
海と大地を強く照らす太陽が生み出す色濃
い陰影のように、島々が積み重ねてきた時
間には栄華と闇が同居する。島に暮らす人々
の多様なアイデンティティとともに。